

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	久留米市			代表者名	市長 原口新五
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部行財政改革推進課	連絡先電話番号	0942-30-9124
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	塚本 智	連絡先E-mail	
住所	830-8520 福岡県久留米市城南町15-3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	DX化のためのBPRセミナー
概要	職員のデジタル化に対する苦手意識を払しょくするとともに、データやデジタル技術を活用して業務を変革しようという意識醸成のための支援をお願いしたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月2日	講演(実地)	13時05分	16時00分	75
				活動時間（分）	100
2-2. 派遣場所	会場名	久留米市庁舎4階会議室	最寄駅	JR久留米駅	
	所在地	久留米市城南町15-3	最寄駅からの交通手段	徒歩10分程度	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DXを推進するための阻害要因や現場職員に求められることをわかりやすく解説していただいた。 また、これからの職員のあり方について、一般職向け、管理職向けをそれぞれに紹介いただき、職員の意識変革につながった。
アドバイザーへの要望事項	今回は、講演という形で広くお話しいただいたので、次回は現場が直面している具体的な課題についてご指導・ご助言をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	75人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体 その他(学生など)	人数	75

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・職員がデジタル化に対する苦手意識から変革をためらっていたり、単にデジタルツールを導入するだけで良いと考えていたりし、業務の見直しが行われないことがある。 ・「デジタル化すると仕事が増える」といった認識が根強く、現場でのデジタル化が進まない一因となっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・DXに対する職員の心理的ハードルを下げる ・職員のマインドチェンジを促す

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> DXの進め方やサービスデザインについて解説いただくとともに、職員が認識すべきこと、意識すべきことを事例等を踏まえてお話しいただいた。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 業務改革（BPR）の必要性や進め方に対する理解を深めることができた。 また、「財政が厳しいので職員を減らす」のではなく、「職員が減る中、職員一人ひとりの価値を最大化するための投資が必要」であることを強く認識することができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	<ul style="list-style-type: none"> 聴講した職員からは、「市民目線に立って何を指すのかをまず押さえ進める必要性を認識できた」「内容を所属課の管理職に共有したい」等の声が寄せられた。 	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 「書かない」「待たない」「来なくていい」窓口の実現を目指した窓口改革の議論を進める中でも、「改革は職員の負担が大きい」や「自ら変える」ではなく「変えてもらいたい」等の意見が根強くあることから、今回ご講演頂いた内容を職員に粘り強く広めていく必要がある。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	<ul style="list-style-type: none"> 一般職向け (n=6) 非常に良かった：33.3% 良かった：66.7% 管理職向け (n=5) 非常に良かった：40.0% 良かった：60.0% ※R6.7.8現在の集計結果(回答期限未到来) 	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	<ul style="list-style-type: none"> 現在、主に窓口における業務改革（BPR）を進めており、具体的な取組みの検討際には、今回お話しいただいた内容も併せて職員に根付かせる。 	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> DXを真に実現するために、デジタルツールの体験と合わせて、既存業務フローの見直し等BPRの必要性を職員が理解した上で、市民にとって長時間待たされる市役所・書かされる市役所から、「書かない」「待たない」市役所への変貌を図り、市民満足度を向上させる。 	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

